# 立水栓ユニット コーンタイプ

## 取付・取扱説明書

このたびは、日本興業の立水栓ユニットをお買い上げいただきありがとうございました。
末永くご愛用いただくために、この「取付・取扱説明書」をよくお読みいただき正しい施工とご使用をお願いします。

### 施工の前に

- 設置場所の確認
  - ・施工場所に寸法的に正しく収まるかどうか確認してください。
  - ・母屋の屋根から雪の落下を直接受けない位置かどうか確認してください。
- 梱包明細書に記載の部材、部品がすべて揃っているか確認してください。
- 製品の施工は、必ずこの「取付・取扱説明書」にしたがってください。
- この「取付・取扱説明書」は、施工終了後お客様にお渡しください。

### 施工上のご注意

- 運搬、施工時は製品をぶつけないようにしてください。
- 製品を横に倒して長時間、地面等に放置しないでください。
- 製品の改造はおこなわないでください。
- 基礎部の寸法は、指定以上の寸法としてください。現場の状況に応じて、基礎部のコンクリートの体積を考慮してください。
- 施工時に製品に付着したモルタルやコンクリート等は、表面に傷をつけないように速やかに清掃してください。
- 施工終了後は、ネジ類の締まり具合をもう一度確かめてください。
- 配管の抜けや破損を防ぐため、設置する場所は平坦な場所としてください。
- 施工の手順でコーキング指示のある所には、シリコン系充填材でコーキングをおこなってください。

### 使用上のご注意

■警告及び注意表示

| | | |
|---|---|---|
| ⚠ | 警告 | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
| ⚠ | 注意 | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |

■絵記号の意味

| | | |
|---|---|---|
| ⃠ | 禁止 | この記号は禁止の行為を告げるものです。指示内容をよく読み禁止されている事項は絶対に行わないでください。 |
| ❗ | 厳守 | この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。指示内容をよく読み必ず実施してください。 |
| ⚠ | 注意 | この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。指示内容をよく読み取り扱いに注意してください。 |

⚠警告

| | |
|---|---|
| ⃠禁止 | ● 本来の用途以外では使用しないでください。<br>● 製品の上に人が乗ったり、ゆすったり、無理な力をかけないでください。 |

⚠注意

| | |
|---|---|
| ⃠禁止 | ● 製品の改造をおこなわないでください。<br>● 施工後、製品が動くような強い衝撃を与えないでください。<br>● ホース接続タイプで、ホースリール等を接続する場合、ホースをひっぱり配管に負担がかからないようにしてください。<br>● 製品は耐熱仕様ではありません。フライパン、鍋などの高温の物を直接置かないでください。<br>● 汚れやカビの原因となるので、水（雨水や食器洗い後の汚水等）をためたまま長時間放置しないでください。 |
| ❗厳守 | ● 製品は寒冷地用ではありません。凍結が予想される夜間または長期間使用しない時には配管内、水栓内の水抜きをおこなうなどの凍結防止対策をおこなってください。<br>● 当社別売品の蛇口は寒冷地用ではありません。凍結が予想される地域では、寒冷地用の水栓を別途お買い求めください。 |
| ⚠注意 | ● 製品はコンクリートを塗装したものなので、砂粒や素焼の鉢などでこすれると表面にキズがつく場合があります。<br>● 研磨剤の入った洗剤や、金属製ブラシ、スチールウールなどで磨くと表面にキズがつく場合があります。 |

### 梱包明細書

| 名称 | 数量 | 仕様 |
|---|---|---|
| 本体 | 1 | 繊維補強軽量コンクリート製・アクリル樹脂塗装 |
| 給水管A | 1 | 水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管：（HIVP 13） |
| 排水管B | 1 | 硬質塩化ビニル管：（VU40） |
| パン | 1 | 繊維補強軽量コンクリート製・アクリル樹脂塗装 |
| スポンジゴムシール | 2 | 片面接着　1m |
| 排水ホース | 1 | PVC（塩化ビニル） |
| 排水目皿 | 1 | ステンレス |
| 排水エルボ | 1 | 硬質塩化ビニル管継手 |
| 給水ホース | 1 | 被膜PVC、ブレードステンレスチューブ架橋ポリエチレン管 |
| 給水エルボ | 1 | 水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管（先端：黄銅） |
| バルブソケット | 1 | 水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管（先端：黄銅） |
| ニップル | 2 | 黄銅 |
| 取付・取扱説明書 | 1 | A3：2頁 |

別売品

| 名称 | 数量 | 仕様 |
|---|---|---|
| 蛇口　スワンネック | 1 | 本体：JIS認定品 |
| 蛇口　補助蛇口 | 1 | 本体：JIS認定品 |

※別売品はすべて、設置現場での取り付けとなります。

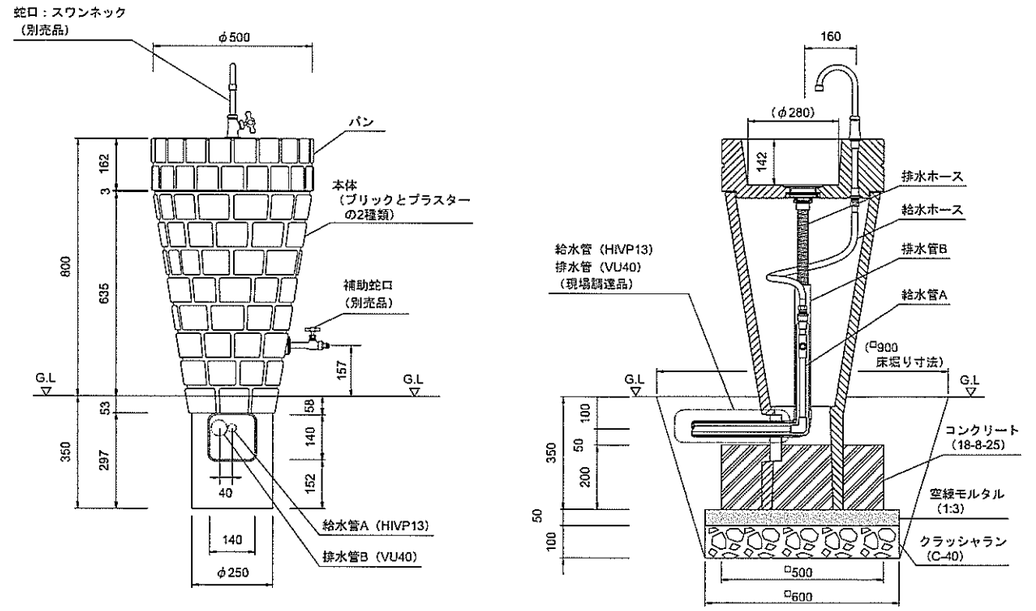
現場調達品

| 名称 | 数量 | 仕様 |
|---|---|---|
| 給水管 | — | HIVP13 |
| 排水管 | — | VU40 |
| 保温筒 | 1 | 高発砲ポリエチレン |
| シーリング材 | 少量 | シリコン系充填材 |

※施工に必要な工具や資材（スコップ、セメント、砂、シールテープ、接着剤）などは別途ご用意ください。

### 施工の手順

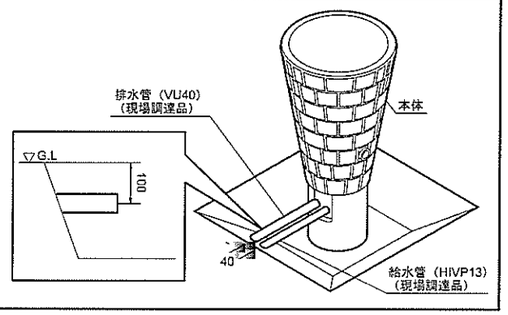
**1** 据えつけ図



## 施工の手順（つづき）

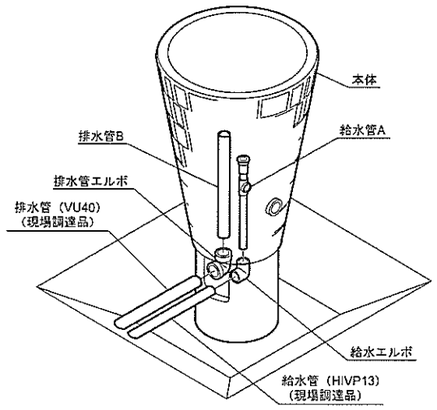
### 2 基礎工事

① 所定の寸法で床掘りをおこないます。
② 施工図を参考に、給水管と排水管の飛び出し位置（製品付属の配管部品との接続位置）を確認し、地面から100mm落ちた位置に給水管（HIVP13）と、排水管（VU40）をセンター基準で40mm程度距離を離して配管工事を行います。
③ 据えつけ図を参考に、クラッシャラン、空練モルタルを敷設します。
④ 飛び出している給水管と排水管の向きに合わせて、本体を空練モルタルの上に仮置きます。



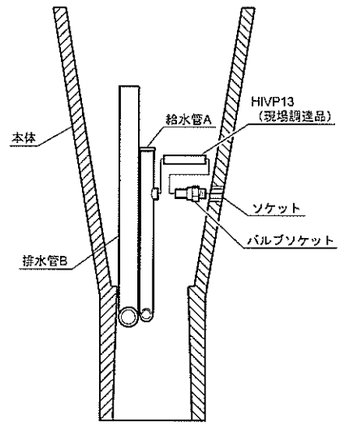

### 3 給水管、排水管の接続

① 既設の給水管、排水管に給水エルボ、排水エルボを接続します。
② 給水エルボ、排水エルボに給水管A、排水管Bを接続します。
③ 給水管、給水エルボ、給水管Aに保温筒を巻きます。
④ コンクリートを充填し、土の埋め戻しをします。
⚠コンクリートは、所定の強度がでるまで十分な養生期間を設けてください。



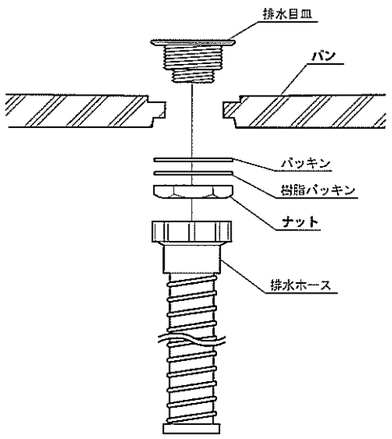

### 4 補助蛇口部の接続

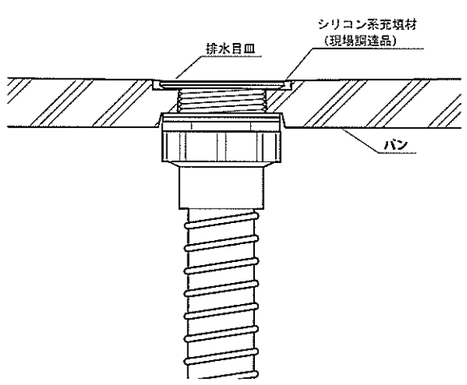
① 本体のソケットにバルブソケットを接続します。
② バルブソケットと給水管Aを補助蛇口給水パーツで接続します。
③ 補助蛇口給水パーツに保温筒を巻きます。




### 5 排水ホースの接続

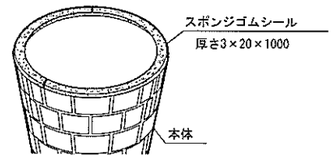
① 排水目皿をパン中央部の穴に通します。
② パン下面のよりパッキン、ナットで締付けて固定します。
③ 排水ホースを排水目皿に取り付けます。
④ パン上面をシリコン系充填剤（現場調達品）で隙間をコーキングします。



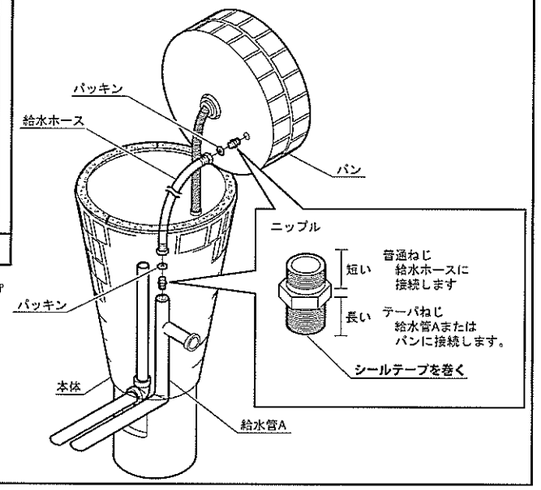

### 6 スポンジゴムシールの取り付け

① 本体をコンクリートで固定後、パン取付前に本体上面部全周にスポンジゴムシールを貼りつけてください。
⚠本体上面部からはみ出さないように貼りつけてください。
② 余ったスポンジゴムシールはカットしてください。



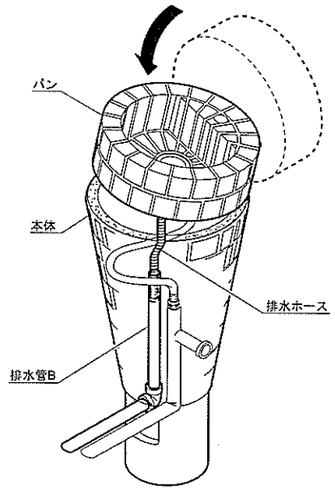

### 7 給水ホースの接続

① 水漏れ防止の為、ニップル（2個）のネジ部にシールテープを巻きます。
② 給水管Aにニップルを取り付けます。
⚠ニップルはテーパねじになっている方を給水管Aに取り付けてください。
③ パンを図のように本体に仮置きます。
⚠パンが落ちないように支えてください。
④ パンにニップルを取り付けます。
⚠ニップルはテーパねじになっている方をパンに取り付けてください。
⑤ パンと給水管Aを給水ホースで接続します。
⚠ニップルと給水ホースの間に必ずパッキンを入れてください。



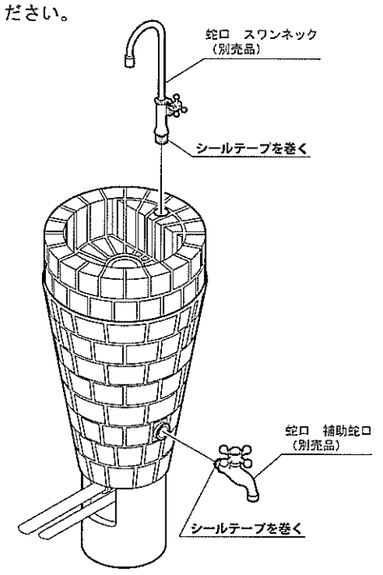

### 8 パンの取り付け

① 排水ホースを排水管Bの中に差し込みながら本体を載せます。




### 9 蛇口、補助蛇口の取り付け

① 水漏れ防止のため、蛇口（別売品）のねじ部にシールテープを巻きます。
② 蛇口取付位置に蛇口（別売品）を取り付けます。
⚠締めすぎたと感じて戻しますと、水漏れの原因になります。
その場合、一度取り外し、シールテープを巻きなおしてください。




● 製品の仕様、内容等につきましては、品質改良の為、予告なしに変更する場合があります。


日本興業株式会社
08.11